

川崎市アクセス認証型教育ネットワーク設計業務委託契約 企画提案書作成要領

川崎市教育委員会 総合教育センター 情報・視聴覚センター

1 提出を求める書類

川崎市アクセス認証型教育ネットワーク設計業務委託契約（以下「本契約」という。）に係るプロポーザルの提案者は、企画提案書類として以下の書類を提出してください。

各書類の記載事項は次のとおりです。

(1) 企画提案書

企画提案書は、「2 企画提案書の書式等」の内容に従って作成してください。

(2) 本件委託業務に係る経費の見積書

ア 委託業務に係る経費

委託業務に係る経費を、消費税抜き相当の価格で記載してください。

イ 上記見積額に係る積算の内訳

(3) 各種認証の取得状況を証明する書類等

情報セキュリティ及び品質管理に関する認証の取得状況を証明する書類等の写しを添付してください。評価の対象とする認証は次のとおりです。

ア 情報セキュリティ及び個人情報の保護に関する認証（必須。本項は入札参加資格となります。）

(ア) ISO/IEC 27001

(イ) プライバシーマーク

イ 品質管理に関する認証（加点対象。提出があった場合は評価において加点されます。）

ISO 9001

2 企画提案書の書式等

(1) 本文の書式及び記載事項

ア 企画提案書本文は、次ページの表の構成に従って各章（節）を記述してください。

イ 独自提案等により項目の追加を行う場合については、関連する章に節を追加することとしてください。

ウ 提案書の枚数は、企画提案書本文全体でA4版30ページ以内とします（両面印刷してください）。ただし、見積書（参考見積書を含む。）、各種認証の取得証明書類、(2)クに規定する、保有する資格を証明する書類については、ページ数に含めないものとします。

エ 提案内容の記述はできるだけわかりやすい表現とし、専門用語を使用する場合は必要に応じて注釈をつけ、ネットワークやICT分野の専門家以外にも理解できるよう記載してください。

オ 企画提案書内に社名、製品名、ロゴ（製品ロゴも含みます）その他提案者を推測できる表示を入れないでください。

カ PDF形式による電子データの名称は、ファイル名を「[業者名]_提案書.pdf」としていただきます。

章（節）	内容
1 会社概要等 （１）会社概要 （２）実績	<p>（１）会社概要、保有資格を記載すること。</p> <p>（２）文部科学省の提唱するアクセス制御による対策を講じたネットワークへ従来のネットワーク分離の環境から移行した実績があれば、５件まで記載すること。なお、実施した自治体の規模（学校数等）などがわかるように記載すること。</p>
2 構築イメージ	<p>文部科学省の提唱するアクセス制御による対策を講じたネットワークを構築するにあたり、「MDM」や「多要素認証」などの要素技術について、必須なものとして推奨するもの、及びそれ以外のものを組み合わせて、現時点の情報で、川崎市が導入するにふさわしい構成イメージについて、提案すること。</p> <p>ただし、次の条件を満たした提案とすること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教職員が利用する統合端末については、現在の校務用コンピュータ（OS:Windows）を活用すること。 ・学校のネットワーク環境は既存の機器を活用すること。 ・「MDM」や「多要素認証」などの取り入れる各要素技術について、どのような技術及び製品を導入するかを記載すること。 ・令和９年度以降に発生する経費について、現時点での本市想定額を踏まえて提案すること。 <p>＊一時経費 １０億１千万円程度 構築作業委託（移行、研修等含む） 新規導入機器等の設定 既存機器／PC の設定変更 等を含む</p> <p>＊経常経費 ６億５千万円程度（年額） 各種サービス利用料 クライアントライセンス 追加設置機器等の賃借及び保守 ネットワークの運用保守 ヘルプデスクの設置運用 等を含む</p> <p>・図などを用いて、直感的にわかりやすく表現すること。（参考：次世代校務DXガイドブック（令和７年３月）のP21～P24）</p>
3 提案理由	<p>提案する製品・ソリューションなどで、類似の他の製品・ソリューションと比較して安全性、信頼性、可用性、汎用性、拡張性、保守性、移植性、経済性（TCO）、環境への負荷、利用者である教職員にとっての操作性と性能でより効果が高いなどの選定理由について、記載してください。</p>
4 リスク対策	<p>文部科学省の提唱するアクセス制御による対策を講じたネットワークを利用する教職員が、今後直面するであろうリスクについて、具体的な例をあげて記載してください。</p> <p>また、提案した構築イメージのなかで、そのリスクを抑制できる理由と、万一リスクが発生した場合の対応方法を、記載してください。</p>

5 移行対策	現行の校務系ネットワーク及び校務系ネットワークに接続するシステムについては令和 10 年度中は稼働する予定として設計を行うため、構築・運用を行う令和 9 年度及び令和 10 年度について、どのような移行対策が想定できるか記載してください。
6 研修計画	令和 9 年度に実施する各種研修の想定計画を記載してください。
7 運用保守計画	令和 10 年度以降に実施する運用保守委託について、これまでのノウハウなどから、注意すべき事項や考慮すべき事項などについて、記載してください。
8 業務内容	実際に設計を行うにあたり、具体的な設計方法や技術的アプローチ、手順や考慮する点を記載してください。
9 受託作業体制等 (1) 実施体制及び担当実績 (2) 全体スケジュール	本業務を実施するにあたり、実施体制（再委託を予定している場合は再委託先の役割を明示すること）を記載してください。実施体制に係る人員について、有益な資格、経歴などがあれば、併せて記載してください。 本業務及び、令和 11 年度次期校務支援システム導入までのタスク及びスケジュール、遂行に当たって想定されるリスクを記載してください。
10 自由提案	本業務も資質向上に資する取組などについて、これまでに記載できない具体的な提案があれば、記載してください。

【 参考 】

- ・ 文部科学省 教育情報セキュリティポリシーに関するガイドライン(令和 7 年 3 月)
https://www.mext.go.jp/content/20250325-mxt_jogai01-100003157_1.pdf
- ・ 文部科学省 次世代校務 DX ガイドブック
https://www.mext.go.jp/content/20250401-mxt_jogai01-000041267_01.pdf